



2023年5月8日

各 位

会社名株式会社 関門海
代表者名代表取締役社長 山口 久美子
(コード番号: 3372 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営支援本部 次長 関口 弘一
電話番号 072-349-9329

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向並びに新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、2022年5月13日に未定として開示した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を、下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

1. 2023年3月期の通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	4,210	54	65	166	12円17銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績(2022年3月期)	2,603	△715	57	0	0円04銭

(注) 今回修正予想の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

2. 修正の理由

2023年3月期の連結売上高は4,210百万円を見込んでおります。前連結会計年度と同様に新型コロナウイルス感染症が感染の拡大と収束を繰り返しており、依然厳しい状況が続いておりましたが、行動制限の緩和に伴い外食需要も回復傾向にあります。「玄品」店舗においては、一時的な感染者数の増加に伴う客数の減少はありましたが、行動制限の緩和により徐々に回復傾向がみられ、インバウンド旅行者の団体のお客様のご来店も増加基調にあります。本部においても以前より取り組んでいた小売り・流通業界への販売先の開拓も徐々に結実しており、3月には駅弁として第1弾の販売を開始しました。また、販売量の増加に備えるため本社工場の人員増加など生産体制強化を進めました。その結果、未定としておりました連結売上高は4,210百万円(前年同期比61.7%増)と前期と比較して大幅に上回る見込みとなりました。

利益面においては、店舗売上高増加に加え原価率改善等により、売上総利益は2,795百万円(前年同期比83.2%増)となりました。販売費及び一般管理費については、主に人手不足からくる臨時雇用者の人件費増加やエネルギーコスト上昇等など売上高増加に伴い変動費は軒並み増加し2,740百万円(前年同期比22.2%増)となりました。しかしながら増加する変動費のコスト管理を徹底したことにより販売費及び一般管理費の対売上比の前期比較では21%改善いたしました。

以上の結果、営業利益は54百万円(前期は715百万円の損失)、経常利益は、営業外収益として助成金収入66百万円等があったこと等により65百万円(14.6%増・前期は感染拡大防止協力金677百万円等に

より 57 百万円の利益) の見込みとなりました。また、特別利益として店舗の撤退に伴う受取補償金 129 百万円の計上、特別損失として減損損失 14 百万円、店舗閉鎖損失 7 百万円等を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益は、166 百万円（前期は 0 百万円の利益）の見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上